

めあて 日常的に読書に親しみ、読書が自分の間あげを広げることに役立つことに気付くことができる。

準備物 日本十進分類表（2次区分まで）・ブックトーク用本（学校図書指導員）記録カード（担任）

	学習活動	指導の手当て	◎評価規準（評価方法）・学習活動を見取る視点☆ラーニングスキル
つかむ	1 本時の学習課題をつかむ。 (1) ブックトークを聞く。 「馬」に関する本 (2) 本時の課題を確認する テーマやキーワードを決めて、本をさがしてみよう。	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館指導員の「馬」に関するブックトークを聞くことで学習意欲を喚起する。 課題確認後、学習の流れも確認し、見通しをもって学習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習に興味・関心をもちながら「馬」に関するブックトークを聞いている。
考える	2 パーソナルワークをする。 (1) 本のさがし方について考える。 ○作者名や題名 ○図書館案内図 ○棚の表示 ○ラベル (2) 日本十進分類法について知る。	<ul style="list-style-type: none"> なかなか考えが浮かばない児童には、学校図書館利用状況や読みたい本を探すときにどのようにしているかを想起させる。 日本十進分表を提示しながら説明する。ただし、本時では、1つのテーマでも様々な棚で「関連する本があるので、1次区分だけでなく2次区分まで教える 	<ul style="list-style-type: none"> 日常活用している図書館を想起しながら、自分が必要としている本の探し方を考えている。 必要な本を探すには、日本十進分類法が有効であることを理解しようとしている。
深める	3 グループワークをする。 (1) テーマやキーワードを決める。 ・自分が好きな食べ物や生き物 ・自分の興味のあること など (2) 本を探す。 (3) 記録カードに記録する。 ①調べること ②分かったこと ③出典 ④作者名（監修） ⑤出版社名⑥発行年	<ul style="list-style-type: none"> テーマやキーワードを決めるには時間がかかると予想されるので、事前に個々に決めさせて授業に臨むようにする。 知りたい情報が書かれた本が見つからないときは、学校図書館指導員に聞く、キーワードを他の言葉にかえる、百科事典から情報を得るなどの助言をする。 児童がすぐに記入できるように内容を明確にしたカードを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分が決めたテーマやキーワードを皆に伝えたり、友だちの考えを聞いたりしながら話し合っている。 ☆必要な本をなかなか探すことができないときは、学校図書館指導員に質問したり助言を求めたりしている。 ◎積極的に学校図書館の仕組みを知って、読書に親しみ、学習課題に沿って本を探し、記録カードに書こうとしている。（観察・記録カード）
まとめ	5 本時のまとめをする。 (1) まとめとふりかえり 本をさがすときは、日本十進分類法を手がかりにすると見つけやすい。 (2) 日本十進分類クイズ	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿って本を探す活動を通して、気付いたことや分かったことをもとに、本時のまとめをする。 「日本十進分類クイズ」を通して理解を深める。 例 ○「茨城のひみつ」は何類かな？ 	<ul style="list-style-type: none"> 順序を考えながら、相手に分かりやすく話している。 ◎日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。（発表態度）

年 組

図書館を使いこなそう

①

テーマやキーワードを決めて、本をさがしてみよう。

テーマやキーワード

自分	
グループ	

記録カード

月 日

調べること	
分かったこと	
出典	
著者（監修）	
発行年	

②

③